

第2章 現代の経済

2 現代経済のしくみ

6 財政のしくみと機能 (教科書 P.142~146)

▶1. 財政制度 [p.142]

(1) 財政…政府の収入(歳入)と支出(歳出)の活動→国家財政, 地方財政

(2) 会計の種類

・一般会計…収入と支出を総合的に管理

・[] …特定の事業を行うため一般会計と切り離して設置

(3) 日本の予算編成

・本予算(当初予算)…新年度に実施される予算(国会の審議・議決が必要)

・補正予算…年度途中の追加・変更の必要から国会の議決をへて修正された予算

・[] …中小企業向け融資や奨学金などの運用(投融資活動)

→政府は毎年, 財政投融資計画を作成

▶2. 財政の役割 [p.143]

財政政策…公共目的の達成のために財政を用いること

(1) 資源配分の調整…[] を供給して市場の失敗を是正

(2) 所得の再分配…[] の適用や社会保障政策による所得格差の是正

(3) 景気の安定化

・不況時の減税, 公共投資など積極的な財政政策

= [] (裁量的財政政策)

・累進課税制度や各種給付制度など, 制度に組み込まれている財政政策

= 景気の自動安定化装置 ([])

(4) その他: 物価の安定, 国際収支安定など

今日の財政政策…[] により景気, 物価,

国際収支の同時安定をめざす

▶3. 租税と公債 [p.144]

(1) [] …課税は事前の法律にもとづかなければならない

(2) 租税の種類

┌ 直接税（納税者＝担税者）…	┌ 国税：所得税・法人税など
└ []（納税者≠担税者）…	┌ 国税：消費税・酒税など

(3) 租税の原則

戦前日本の直間比率…酒税など間接税が全体の60%強を占めていた

戦後の [] 勧告により直接税中心の税制に

望ましい税制 ← ・公平・中立・簡素の三原則

・ [] : 収入の高い人からは高い税率,
低い人からは低い税率で

・ 水平的公平 : 同程度の収入であれば同程度の税負担を

(4) 公債発行

・ 歳入不足→公債（国債，地方債）発行で補填

[] で赤字国債は禁止

・ 石油危機後の不況

→1975年以降，特別立法による []（赤字国債）発行が常態化

▶4. 財政の課題と財政改革 [p. 145]

(1) 石油危機後の赤字国債残高の累積

→財政危機

→行財政改革推進（歳出抑制，三公社の民営化など）→財政収支改善・バブル景気

→1990年度新規国債発行0， [] 10%未満に

(2) 直間比率見直し機運

→所得税の累進度を弱め， [] を導入（1989年）

バブル崩壊後の不況→国債依存度上昇

→累積赤字大幅増

[]（プライマリー・バランス）は大幅赤字

→財政の [] が進行

(3) 課題

巨額の財政赤字，少子高齢化の進行，国際環境の変化による支出増

→これらの費用をいかに捻出するか，増税についても国民的合意形成が重要